

記入例

父母ともにいる場合は、所得の高い方

認定請求書

提出年月日
令和 6・9・1

記入不要

請求者	①氏名 (法人名等)	せと たらう 瀬戸 太郎			②性別	男・女	③生年月日	昭和 平成 55・1・1	④職業	ア 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者			
	⑥住所 (法人の主たる事務所の所在地)	瀬戸市 追分町64番地の1			⑤配偶者	有・無	⑨連絡先	父 (090 - 1234 - 5678) 母 (080 - 1234 - 5678)	(左欄と異なる場合に記入してください)				
	⑦個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	⑧請求者の加入している 公的年金制度の種別			ア 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他 ()	所得の 状況		令和5年分所得額 (請求者) 円 記入不要	円 (配偶者)			
配偶者等	⑩氏名	せと はなこ 瀬戸 花子			③職業	ア 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	請求者の控 または同一生 記入不要		④個人 番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1			
	⑩住所 (別居の場合)	⑩生年月日			昭和 平成 55・2・2	1月1日時点の住所 (1～5月分は前年、 6～12月分は本年)		(左欄と異なる場合に記入してください)					
⑩児童の兄弟等 (18歳に達する日以後の最初の 3月31日を経過した後22歳に達 する日以後の最初の3月31日まで の間にある者)	氏名	続柄	生年月日	監護相当 の有無	生計費負担 の有無	同居・別居 の別	海外留学をしている 場合の出国年月	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> 児童の兄弟等 と 児童 の合計人数が 3人以上の場合で 「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも 「有」の場合 ⇒「監護相当・生計費の負担についての確認書」もご提出くだ さい。 </div>			※算定対象の場合 に○印		
	瀬戸 一子	子	平成 15.4.2	有・無	有・無	同・別	令和 年 月						
	瀬戸 一郎	子	平成 17.6.2	有・無	有・無	同・別	令和 年 月						
⑩児童	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居 の別	海外留学をしている 場合の出国年月	住所 (別居の場合)	※児童との関係 該当する場合に ○印	※第3子以降の 場合に○印	※3歳未満の 場合に○印	※左記以外の 場合に○印	※手当月額
	瀬戸 二郎	子	平成 令和 19.8.1	有・無	同・維持	同・別	令和 年 月	〇〇市〇〇町〇〇番地	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
			平成 令和	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月		・未成年後見人 ・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
			令和	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月		・同居父母	(月額30,000円)	(月額15,000円)	(月額10,000円)	円
⑩支払希望 金融機関	名称	支店コード	支店名	口座番号			※認定・却下年月日		※支給開始年月		※合計月額		
	〇〇〇〇	0 0 1	瀬戸	1 2 3 4 5 6 7	令和		令和 年 月		円				

請求者名義の口座を記入してください。
(お子さま名義のものは不可)

⑩に記載の児童が別居の場合は、
「別居監護申立書」もご提出ください。

裏面もご記入ください

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください。

注意

- ①の欄は、請求者が個人である場合は氏名を、法人である場合は法人名及び代表者氏名を記入してください。
- ⑥の欄は、請求者が個人である場合は住民票上の住所を、法人である場合は主たる事務所の所在地を記入してください。また、請求者が個人であり、本年（1月から5月までの月分については、前年をいいます。）1月1日に他の住所を右欄に記入してください。
- ⑦の欄は、請求者が個人である場合のみ12桁の個人番号を記入してください。
- ⑧の欄は、⑩の欄に3歳に満たない児童がいる請求者に限り、請求の日における公的年金制度の加入の状況について、「ア」から「ウ」までのいずれか該当するものを○で囲んでください。「ア」を○で囲んだ場合は、第四種被保険者又は高齢任意加入被保険者（これらの者が保険料を自ら全額負担している場合は、「高任」と記入してください。）であることを示す必要があります。
- ②、③、④、⑤、⑥、⑧、⑨、⑪、⑫、⑬及び⑭の欄は、請求者の配偶者又は生計を維持している者には、児童を懐胎している旨を記入してください。また、配偶者又は生計を維持している者がいない場合は、「無」と記入してください。
- ⑩の欄は、配偶者又は生計を維持している者の氏名を記入してください。また、配偶者又は生計を維持している者がいない場合は、「無」と記入してください。
- ⑪の欄は、配偶者又は生計を維持している者の生計に関する事項を記入してください。
- ⑫の欄は、⑩の欄に記入した者の住所を記入してください。
- ⑬の「監護相当の親」とは、児童が請求者自身の子である場合や請求者が未成年後見人又は父母指定者である場合で、請求者がその子の生計を維持しているときに○で囲んでください。
- ⑭の「生計関係」の欄は、次によって記入してください。
ア 「同一」は、児童が請求者自身の子である場合や請求者が未成年後見人又は父母指定者である場合で、請求者がその子の生計を維持しているときに○で囲んでください。
イ 「維持」は、児童が請求者自身の子でない場合で、請求者がその子の生計を維持しているときに○で囲んでください。なお、当該書類により証明すべき事実を公簿等（戸籍簿、住民票の写し、出生届、婚姻届、離婚届、死亡届、住民票の写し、児童が請求者自身の子でない場合は、当該児童が日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き○で囲んでください。）が確認することができる場合は、当該書類は省略することができます。
ウ 児童又は児童の兄弟等が他の市町村に住所を有する場合は、その児童又は児童の兄弟等の住民票の写しを提出してください。児童又は児童の兄弟等が世帯主でない場合には世帯主との続柄が記載されたものを提出してください。
エ 児童が海外に留学している場合は、当該児童が日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き○で囲んでください。なお、当該児童が日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き○で囲んでください。
オ 児童が請求者自身の子であり、請求者がその児童と別居している場合は、請求者のその児童に対する養育費の支払状況を明らかにすることができる書類を提出してください。
カ 請求者が未成年後見人である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類を提出してください。
キ 請求者が父母指定者である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類を提出してください。
ク 児童が請求者自身の子でない場合は、父母とその児童との養育関係及び請求者とその児童との養育関係が明らかであることを示す書類を提出してください。
ケ 児童が請求者自身の子でない場合は、父母とその児童との養育関係及び請求者とその児童との養育関係が明らかであることを示す書類を提出してください。
コ 児童が請求者自身の子でない場合は、父母とその児童との養育関係及び請求者とその児童との養育関係が明らかであることを示す書類を提出してください。
サ 児童が請求者自身の子でない場合は、父母とその児童との養育関係及び請求者とその児童との養育関係が明らかであることを示す書類を提出してください。

請求者の本人確認書類の写しをここに貼りつけてください。

※請求者本人のものを提出ください。（おじさまの本人確認書類ではありません。）

必ず記入してください。記入されていない場合、返却する可能性があります。

請求者の口座情報（金融機関、店番、口座番号、名義人カナ氏名）が分かるものの写しをここに貼り付けてください。（例：通帳の見開きページ）

※請求者本人のものを提出ください。（おじさま名義の口座情報のわかるものではありません。）

(宛先) 瀬戸市長 令和 6年 9月 1日
 児童手当の認定及び支給に関する事務において必要とする場合に限り、個人番号を利用して住民基本台帳・税情報・加入している公的年金の情報・その他審査に必要な情報に係る公簿を閲覧することに関し、所定の申請権限は、瀬戸市長へ委任します。

(請求者氏名) **瀬戸 太郎** (配偶者氏名) **瀬戸 花子**

備考

- ⑦及び⑭の欄を除き、必要があるときは、所要の変更又は調整を加えることができる。
- 受給資格者に周知することにより、注意事項を省略することができる。

保育課との連携 無 有
 <不備書類> 厚生年金加入証明、保険証の写し 口座、通帳 **記入不要**